

地理歴史 科

科目名	単位数	学年	学科
歴史総合	2単位	1年	農・普科

教科書	高等学校 新歴史総合 過去との対話、つなぐ未来（第一学習社）	副教材	なし
-----	--------------------------------	-----	----

科目の目標	社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを旨とする。
-------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

☆ 年間指導計画と学習のポイント ☆

	学 習 項 目	単元の評価の観点	
		①知識・技能	②思考・判断・表現
1 学期	第1部 歴史の扉 第2部 近現代の世界と日本 第1章 近代化と私たち	<ul style="list-style-type: none"> 私たちの生活や身近な地域などに見られる諸事情を基に、それらが日本や日本周辺の地域及び世界の歴史とつながっていることを理解している。 資料から情報を読み取ったりまとめたりする技能を身に付けている。 現代的な諸課題の形成に関わる国際秩序の変化や大衆化の歴史を理解している。 歴史的経緯を踏まえて、現代的な諸課題を理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 複数の資料の関係に着目して、資料から読み取った情報の意味や意義、特色などを考察し、表現している。 近現代に伴う生活や社会の変化について考察し問いを表現している。 事象の背景や原因、結果や影響などに着目して、現代的な諸課題と関連付け、主題について多面的・多角的に考察している。
2 学期	第2章 国際秩序の変化や大衆化と私たち		
3 学期	第3章 グローバル化と私たち		
<p>1 私たちの生活や身近な地域と日本や日本周辺の地域及び世界の歴史とつながっていることについて考えてみましょう。</p> <p>2 様々な資料を活用してレポートを作成し、課題（問い）を見つけ、多面的・多角的に考察し、それを表現しましょう。</p> <p>3 粘り強い取り組みを続け、学習内容をまとめ、発表し、相互に評価しましょう。</p>			

番号	評価の観点	評価規準
①	知識・技能	事象の背景や原因を理解し、多様な資料から情報を読み取ったりまとめたりする技能を身に付けている。
②	思考・判断・表現	事象の背景や原因、結果や影響などに着目して、多面的・多角的に考察している。
③	主体的に学習に取り組む態度	よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究し、解決しようとしている。
定期考査	1学期中間・期末 2学期中間・期末 学年末（計5回）	
評価方法	以下を総合的に評価する。 ①知識・技能（定期考査、レポート） ②思考・判断・表現（定期考査、レポート、グループワーク） ③主体的に学習に取り組む態度 （授業・研究発表の態度、レポート、グループワーク）	